

第55回鹿児島市小・中学校図工・美術学習発表展

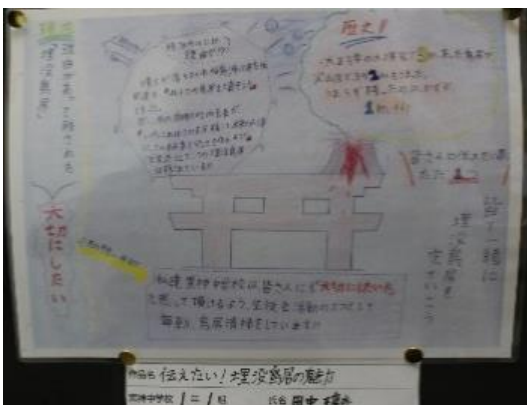
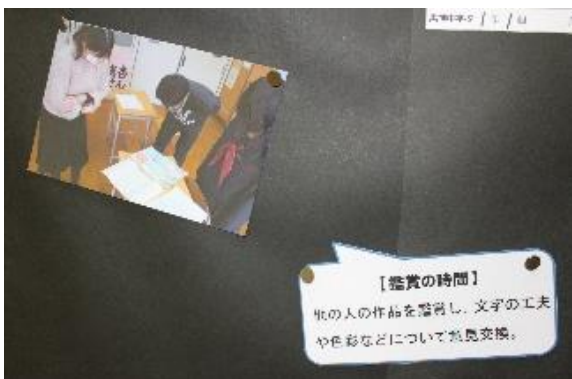
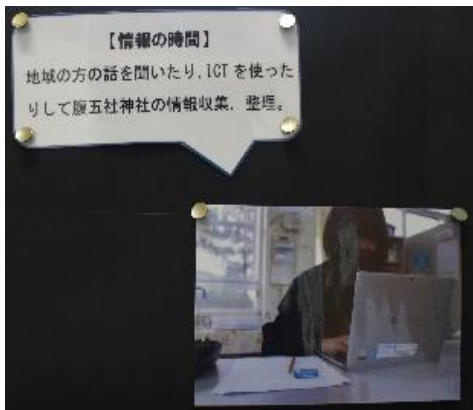
黒神中学校の生徒会スローガン「一人で十人分」の通り、美術の時間では様々な作品作りに取り組んできました。本校は生徒1名ですので、職員が生徒役として授業に参加することもあります。今回は職員も参加した2つの作品づくりの制作過程を紹介します。

1つ目は黒神パンフレットです。黒神中学校生徒会が運営する元気塾に設置し、観光客に黒神の魅力を伝えるためのパンフレットを制作しました。

まず、「発想の時間」ではそれぞれテーマを決め、地元の方に話を伺ったり、タブレット端末を用いたりして情報収集、整理を行いました。さらに、より具体的にパンフレットの構想を練り、アイディアスケッチをしました。

次に、「創造の時間」では、アイディアスケッチをもとに、1枚の紙と10本の色鉛筆で実際にパンフレットを制作しました。制作時は、色や文字の大きさが与える印象などを意識しました。

「鑑賞の時間」では、鑑賞シートを用いて意見交換を行いました。意見交換をしたことで、自分の考えをより効果的に伝える方法を考えることにもつながりました。また、作品を鑑賞する中で新たな発見もあり、改めて黒神の魅力に気づくことができた良い機会となりました。



2つ目は、レタリングです。「自分の好きなもの」をテーマに、作品制作に取り組みました。まず「発想の時間」ではそれぞれ好きな文字を選び、マインドマップやイメージブックを用い、文字のイメージを広げながらアイデアスケッチをしました。(マインドマップとは、キーワードを中心に放射状にキーワードやイメージを広げつなげていくもので、頭の中で考えていることを整理し発想をしやすくする効果があります。)

次に「創造の時間」では、アイデアスケッチをもとに、実際に作品づくりに取り組みました。スパッタリングやグラデーションなどの技法を使ったり、アクリル絵の具の特徴を活かした絵の具の使い方をしたりと工夫しました。

最後の「鑑賞の時間」では、鑑賞シートに工夫したことや感想などをまとめ、発表し、他の作品についての感想を述べました。作品から感じる印象は鑑賞者によりさまざまで、自分とは異なる視点からの意見に興味深く耳を傾けていました。作品制作・発表ともに充実した時間となりました。

